



【松原 孝政 (Takamasa Matsubara)】管楽コース (サクソフォン) 准教授

A. Reed 音楽祭ソロ・コンテストに最年少 (16 歳) で入選。第 2 回東京室内楽コンクールにサクソフォンとしては初めて入選。第 16 回日本管打楽器コンクール第 3 位入賞。東京文化会館「新進音楽家デビューコンサート」オーディションに合格。その他受賞歴多数。

2000 年、昭和音楽大学を卒業。同時に特別賞を受賞。在学中より同大学オーケストラと P. クレストンの協奏曲を共演するなど数多くの学内演奏会に出演。また、読売新聞社・ヤマハ株式会社・サントリーホール主催の各新人演奏会に出演。これまでに、中村均一、富岡和男、彦坂真一郎の各氏に師事。

『カルテット・スピリタス』『トリオ・リベルタ』『The Wind Wave』『TAKE8』のメンバー。現在、ソロ、室内楽を中心に、国内外主要オーケストラや吹奏楽で活動中。

2003 年、映画音楽『シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー』にソリストとして日本フィルハーモニー交響楽団とともに収録。また 2005 年には自身初となるソロ CD 『C r u s i n g』をリリース。

カルテットスピリタスとして、『scene』、『THE QUARTET』(レコード芸術特選盤) 『スピリタスコレクション春夏、秋冬』 『THE QUARTET II』(レコード芸術特選盤レコードアカデミー賞ノミネート) をリリース。津田ホールでのリサイタルは「調和に優れた正統派アンサンブル」(音楽の友) と評された。2009 年、浜離宮朝日ホールでのリサイタルは NHK「クラシック倶楽部」で放送されている。また FM 名曲リサイタルにも出演するなど、メディアからも注目されている。

トリオリベルタとして、『プレイズピアソラ』『プレイズシネマ&ワールド』を同時リリース。クラシックの枠にとらわれないその活動は、国内最大級のジャズイベント「横濱 JAZZ プロムナード」への出演や、神奈川県民ホール主催の単独野外コンサートなどでもその圧倒的な演奏で話題を呼び、ジャンルを超えて幅広く支持されている。他 CD 多数。また、CM・ドラマ・映画などのスタジオレコーディングなどにも多数参加。ドラマ『家族ゲーム』本多俊之スペシャルクインテットの一人としても話題となった。2007 年より、財団法人「地域創造」登録アーティストとして、全国の公共ホール活性化事業に参加している。

海外公演では、カルテットスピリタスとして 2014 年ロシアからの招聘を受け、モスクワのチャイコフスキーホールにて「国立モスクワ合唱団」との共演を成功させる。また、2015. 16 年にヤマハが主催するカルテット『プレミアム Y』で中国 4 都市ツアー、2019 年にはトリオリベルタで豪華客船「飛鳥 II」カナダ〜アメリカを全て成功させた。

昭和音楽大学、上野学園短期大学講師。2025 年 4 月から名古屋音楽大学准教授に着任